

特定器材マスターファイル仕様の変更

(注) 今回の変更部分については赤字で記載。

- 1 項番27の後に、項番28「変更年月日」、同29「経過措置年月日」、同30「廃止年月日」、同31「別表番号」、同32「区分番号」及び同33「DPC適用区分」を追加。

| 項番 | 項目名 | 形式 | | | 内容 |
|----|---------|-----|-----------|----------|---|
| | | モード | 最大 バイト | 項目 形式 | |
| 28 | 変更年月日 | 数字 | 8 | 固定 | マスターの情報を変更した日付を西暦年4桁、月2桁及び日2桁の8桁で表す。 |
| 29 | 経過措置年月日 | 数字 | 8 | 固定 | 当該特定器材の経過措置年月日を西暦年4桁、月2桁及び日2桁の8桁で表す。 なお、経過措置でない場合は「00000000」である。 |
| 30 | 廃止年月日 | 数字 | 8 | 固定 | 当該特定器材の使用が可能な最終日付を西暦年4桁、月2桁及び日2桁の8桁で表す。 なお、廃止特定器材でない場合は「99999999」である。 |
| 31 | 告示番号 | | | | 特定保険医療材料及びその材料価格（材料価格基準）に基づき付番する。 なお、材料価格基準に基づかないもの（酸素等）は「0」である。 |
| | 別表番号 | 数字 | 2 | 可変 | |
| 32 | 区分番号 | 数字 | 3 | 可変 | |
| 33 | DPC適用区分 | 数字 | 1 | 固定 | 当該特定器材が診断群分類（DPC）点数表の所定点数に含まれるか否かを表す。 0：DPC点数表に含まれる特定器材（包括評価対象） 1：出来高部分で算定可能な特定器材 |

- 2 項番34～同36として「予備」を追加。

| 項番 | 項目名 | 形式 | | | 内容 |
|----|-----|-----|-----------|----------|--------|
| | | モード | 最大 バイト | 項目 形式 | |
| 34 | 予備 | 英数 | 10 | 可変 | 未使用：省略 |
| 35 | 予備 | 英数 | 10 | 可変 | 未使用：省略 |
| 36 | 予備 | 英数 | 10 | 可変 | 未使用：省略 |